

ALERT・社会福祉委員会

主な活動の記録

2026	3.10	高岡聴覚総合支援学校との交流 *高等部卒業生4名を激励 印鑑贈呈
2025	10.21	新生苑との交流事業 *ふれあい農園～さつまいもの収穫～
	10.26	*新生苑まつり 豚汁の提供
2026	5.15	*ふれあい農園～さつまいもの苗植え～
2026	4.21	能登復興支援ボランティア

ALERT・社会福祉委員長 L.松本 靖彦

今期も、新生苑の皆さんや石堤保育園児の皆さんたちとのサツマイモの植え付けと収穫や、秋の文化祭での豚汁の提供。聴覚支援学校の卒業



生の皆さんへの激励会（印鑑とケースの贈呈）など、長きに渡って交流のある活動でした。クラブとしては、例年の活動ですが、相手方は初めての体験で新鮮に受け止めていただけたことが、喜ばしく思えました。

また、今年度は、コメの値段の高騰が、市内子ども食堂の運営を圧迫しているところもあると聞き、ご縁のある4つの子ども食堂に米を寄付させていただきました。

一つ一つの活動に委員会メンバーの方やクラブメンバーの方の参加・協力があり、すべて順調に事が運びホットしています。ありがとうございました。今後とも皆様宜しく願います。

高岡聴覚総合支援学校との交流

北日本新聞社 2026/03/11

聴覚総合支援学校 高等部3年にはんこ 高岡志貴野L.C. 高岡志貴野ライオンズクラブ(L.C.)、高岡市西藤平蔵の高岡聴覚総合支援学校で激励会を開き、11日に卒業を迎える高等部3年生の4人にはんことケースを贈った。

役員会長「写真右」が一人一人に手渡し、「皆さん

の日々の努力は必ず自信につながる。一步一步頑張っ

てほしい」とエールを送った。代表生徒が感謝を述べ、「これまで守ってくれた

人々の思いを胸に進んでいきたい」と決意を語った。

同L.C.は旧高岡ろう学校時代から交流を続け40年目となる。社会人の自覚を持つよう記念品として毎年贈呈している。



今年度、4名がご卒業されました

新生苑との交流



富山新聞掲載 2025.10.22(水)

◇…高岡市の福祉施設「新生苑」利用者と石堤保育園児、高岡志貴野ライオンズクラブの約20人は21日、サツマイモを収穫した。写真。

◇…同市麻生谷の農園で収穫が行われ、参加者は5月に植えた「紅はるか」約250苗を、力を含ませて掘り起こした。

◇…今年は土の状態が良く、豊作に。顔よりも大きく、ものがごろごろと掘れ、サツマイモの山に参加者は、ほくほく顔になった。

ALERT・社会福祉委員会



能登復興支援

